

□随想□

# 戦前の神戸

白井鉄造

え・津高和一



戦前の神戸の話といっても、昭和の初期のことだけれど、トーア・ロードと元町が神戸の代表的な商店街で、神戸人はもちろん、神戸を訪れる人は誰でもトーア・ロードと元町を歩いて、神戸を感じた街である。

トーア・ロードは今はその頃のような特異な感じの街ではなくなったけれど、以前は外国人経営の店や、外人向きの商店が並んでいて華やかで、ちょうど外国の街へ行ったような街であった。

東京の、新しがりの気取りや達も、神戸へ来ればまず、このトーア・ロードを歩いてハイカラな神戸気分を味わう街で、私も昔はよくこの通りと元町を歩いた。

私が、トーア・ロードで印象に残っているのは二、三軒あった家具の店である。大きな店に一杯

に並べてある家具は、外国製のしゃれたデザインのものばかり、これはその頃、神戸にたくさんいた外人が、本国へ引揚げる時処分して行った家具だそうだから、中古品なのだが、あちら好みの大変豪華なもので、それがいかにも国際都市の店という感じであった。

私はいつもそれらの家具を見る度に買いたいたいと思うものがたくさんあったのだが、私の家が洋間ばかりではなかったし、部屋も小さいので道具が大きすぎて、私はいつも欲しいなと思って見て通っていたので、今でもそれらの店は、宝物が一杯並べてあったような豪華な思い出である。

元町も今は昔の元町のカラーは薄れたが、トーア・ロードより日本的な賑かさで、東京の銀座にもない、新しい、ハイカラな品物があって、ここ

も東京人がわざわざ買物に來たりした。

その時分は外国からの観光客は皆船旅だけの時代だったので、神戸は外人客で賑やかで、元町も外人観光客相手の店も多く、異国情緒を持った港町神戸の中心商店街で、私も神戸へ出て来れば必ず元町を歩かなければ神戸へ来た気がしなかったものである。

阪急電車が神戸市内に乗り入れて三宮に進出したのが昭和十一年で、それから三宮が新しい繁華街になったために、神戸は、賑やかな街が、広く大きくなったけれども、どこも皆同じような店の街になり、外人客も昔ほど多くなかったことにもよるのか、元町はかつての、元町だけの持っていたカラーがなくなったように思う。

そして、三宮に映画館がたくさん出来たし、東京や外国からの一流芸能人の出る立派な会館も出来たので、それらのために我々も神戸へ出かけても、いつも三宮界限だけのことたりてしまうので、元町はいよいよ遠くなってしまつてそこまで足をのばす機会がない。

以前の三宮は、トリア・ロードと元町への入口というだけの、場末のような町で、その時分はもっと広がった三宮神社の境内に、二、三軒の、セカンドランの小さな映画館があっただけだったので私達は封切映画や芝居を見るためには新開地まで行かなければならなかった。

新開地のキネマ倶楽部や朝日館は神戸で一流の洋画封切館であつたし、劇場も聚楽館は、東京の帝劇と共に日本一の立派な新しい洋風劇場で、新劇や日本を訪れる外国の一流芸能人や音楽家はこ

の聚楽館で公演し、松竹劇場は、歌舞伎や新派など、東京、大阪の一流劇団をいつも上演して、華やかな立派な劇場だったが、この新開地もまた今は遠くなつてしまつた。

その時はまだ、阪急電車は神戸の終点駅が上筒井だったので、そこから市電で新開地まで出かけた。バスなどもまだなくて、タクシイもなかったように思う、あつたとしても少なく、高かったのでも乗らなかつたのか、タクシイで乗りつけた記憶はなく、いつもチンチン電車で、停留所がたくさんあるので延々と新開地まで三、四十分位かかって行つたと思う。

戦前は映画も芝居も興業時間がのんびりと長かつたので、冬など十時過ぎに終演で、新開地から上筒井まで帰る電車の中が寒くて、靴の中の足の指先が冷たかつたことを憶えている。

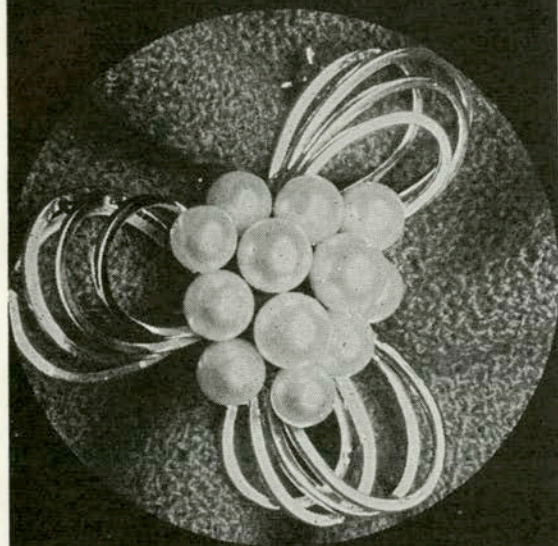
大阪でも芝居や映画は、まだ北の梅田界限にはなく、南の道頓堀まで、やはり電車で梅田からでかけなくてはならない時代だったから、私は映画は大阪より神戸へよく行つて見た。私の妻が兵庫生れの神戸っ子のためもあるが、私は映画や芝居の帰りに元町を歩くのが楽しみだったし、映画見物でない時でも私はよく神戸へ出かけた。

私は宝塚へ来てすでに四十数年になるけれど、ずっと伊丹に住んでいるので、今でも神戸は遊びに行く所のような、遠い感じがするのだが、こうして昔の話をしていると、私も神戸とは長い繋りが出来ているのだなと思う。そしてふるりの遠い思い出をたどっているような懐かしい気持ちになる。

(演出家)

*Kitamura Pearls*

世界の人々に愛される  
キタムラパール



北村真珠株式会社

神戸：元町店 TEL ③③ 0072  
東京：スキヤ橋店 TEL<571>8032

マロングラッセは

ヒロタの銘菓



洋菓子の  
ヒロタ

〈神戸〉 元町店・三宮店・さんちか店  
秀品店

〈大阪〉 梅新店・富国店・ウメダ店  
大阪駅東口店・心斎橋店・戎橋店  
ナンバ店・天王寺店・天満店・京橋店  
守口店・新大阪駅店・淡路店・尼崎店  
西尼崎店

LONGINES



流行をはこぶ  
ロンジン



特約店

 美和時計店

元町店・元町三丁目 TEL 33-1798

三宮店・さんちかファンシータウン TEL 33-8798

楽しい夢のある

ショッピングを!



トア・ロード店が新装開店…

国産・舶来アクセサリ-

センスある品々

ニュー・モードがいっぱいです  
ぜひお立寄り下さい。

コスチュームアクセサリ-の店

芸 げい も 夢

神戸店/トアロード ③38643・2293

大阪店/心斎橋ロビー (211)5153・1044

心斎橋名店街(小丸ビル) 211-8503



## ▼ある集い▲その足あと

## 神戸Y・M・C・A ヨットクラブ

このクラブは昭和二十九年七月六日に誕生した。メンバーは会社員、公務員と3人の大学生の計十六人であった。昭和二十六年、神戸Y.M.C.A.体育部が一般人を対象としたヨット講習会を西宮で開催、同二十七年にも国体出場経験のある石合靖民氏をリーダーとしてすすめられ、A級ディンギー一艇を購入、小豆島のY.M.C.A.キャンプ場で、またキャンプ前にも西宮で講習会が開かれた。同二十八年にもA級ディンギー一艇を購入した。この三年間に講習会参加者は約三〇〇名にのぼり、2回、3回と続けて受講する熱心な人たち

の間でいつとはなしにクラブを作って本格的にヨットに乗りたいたいという声が高まり、指導者の石合靖民氏を中心に受講者数名が発起人となり、その熱意によってスタートする運びとなった。

しかし、購入したヨット二艇は余島キャンプ場にあり、ヨットを持たないヨットクラブが生まれたそこで余島でヨットキャンプを行ない、貸ヨット三艇を含む計五艇を使用して、キャンプ参加者女子2名を含む十七名は、朝はまだ薄暗い5時前から起きて朝食までの三時間日中は勿論のこと夕食後はナイトセイリングと称して十一時ごろまで海岸に目印のたき火をもやしながら乗り続けた。やがて二年目、三年目を迎え、艇庫が必要であったことから新開地のウエストキャンプ地跡に建っていたかまぼこ型の米兵舎を手に入れることができた。つづいて戦前普及しかけたことのある瀬戸内海6米型I・S型という大型ヨットを中古ではあったがメンバーの借金や借金の3カ月分割払で購入することができ、クラブ設立以来、やっとクラブの艇を持つことができた。

この年、西宮港で開かれた国体でメンバーの鈴木照子さんが一般女子代表として初参加できた。こうして昭和三十一年はクラブ設立三年目とあって、I・S型購入、艇

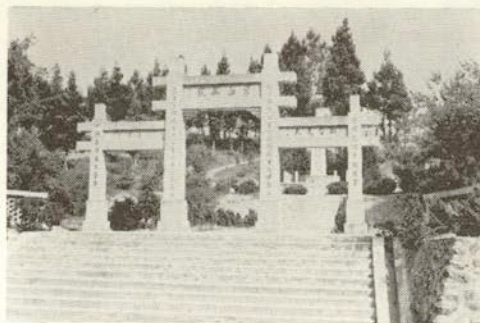
庫の建設、ディンギーの体育部移管と飛躍の年ではあった。会員も四十名近くにもなり、二艇のディンギーも購入、国体にも県代表を送ることができた。

しかし昭和三十八年、クラブ発足十年目の十周年記念行事の矢先、練習中に転覆したディンギーを救助に行ったスナイプが救助作業中に舵を流失クルーの末陰敏男君とそれを助けようとした前岸敬一君の二名は帰らぬ人となった。この事故が、海のこわさを如実に教えてくれ救助艇の建造、海上では必ずライフジャケットを着用するというルールがつくられた。

昭和三十九年九月、台風二〇号に見舞われ、防潮堤のうへへ小型艇は引きあげ、タリホーを四方へもやいをつけたが、艇庫は押しながされて全滅。タリホーは森繁さんの富士山丸とともに流されて沈没。再び出発点にもどった。

同クラブに兵庫県スポーツ賞の栄誉が与えられたのは昨十一月。昭和三十八年にはスポーツ功労団体として表彰されているが、同クラブ員はこの賞は現在のメンバーだけが受けたのではなく、過去に在籍したすべてのメンバーとともに受けるべきもので、この栄誉を永久的に将来のメンバーへ引き継いで行く義務が私達に課せられていると思いますといっている。

# □ 随想二題 □



台湾土産

## 日本人の眼は 曇つとる

春木一夫

〈作家〉

台湾にいくというと、いろんな人が知恵をさすけてくれた。向うのホテルはスリッパがないから、持っていくといいというのである。一週間前に、東南アジア、台湾をへて帰ってきたというので信用した。こていねいに、皮のスリッパを買って、持参したのである。

ところがだ。台湾全土を歩いて

見、一カ月間あちこちのホテルや旅館に泊ったが、どこにでもスリッパはそろえてあった。海拔二千メートル以上の阿里山のボロ宿でも、花蓮港の三百円の木賃ホテルでも、ワラであんだスリッパが用意されてある。皮のものがほしければ、カバン屋にいけば、いくらでも売っている。その他、シャツ、靴下でも不足どころか、今や生産過剰で、困っているほどだ。

軍人の姿を台北では見かけません。平和なんですな、といった人がある。ある県のロータリー倶楽部の会長だ。一週間滞在して、五日前に帰ってきたという。ところが、これまた大ウソ。台北では、いたるところに、憲兵がヘルメットをかぶって立っている。バスには兵隊が十人ぐらい乗っていることがある。町中を散歩するもの。新兵を引率していくもの。軍人がいないどころか、制服があふれており、映画館でも、軍人の特別割引をやっている。何が平和なんだといったかった。

話に聞いたうちで当っていたのは、大陸の料理が全部台湾でたべられます、ということである。北京、上海、広東、湖南、四川。どんな料理でも、日本の値段の半分か三分の一でたべられる。蒙古料理もあったが、これはインチキ。

それでも、鹿の肉とは珍しかった。台北でギョーザは一つ四十銭。(日本円で三円六十銭)。十個で四十円。ほとんどが水ギョーザで、焼いたものは少ない。

丸公園で、ヘビの吸物と生ギョモをたべてみた。大してうまいものではないが、眼がはつきりしてきた。この調子なら、ご婦人方の服もすけて見えるかも知れないと、大中小あわせて三つたべたが、その効能のなかったのは残念である。

台中から霧社にいく途中に、埔里というところがある。台湾の中心地点で、日本の軽井沢といった避暑地だ。美人と紹興酒の産地で野球の王選手とかくの噂さのあった張美珣の生れたところ。彼女は製茶工場の女工をしていたが映画会社にスカウトされて、スターになった。ここでは珍しく、淡水魚の刺身がたべられる。鯛やマグロなど、海の魚はどこでも売っているが、淡水魚はここだけ。鯉によく似た味で、身はうす桃色をしている。

台湾の女性はきれいだと聞いていたが、なるほど、若い女性は美しい。どうして婆になると、あんなに不格好になるんだらうと思うぐらいだ。第一、姿勢がよい。日本人のように猫背ではない。脚もヒザ小僧がとび出しているのと違

い、すらりと形よく伸びている。  
その上に、曲線美豊かな上体があり、オッパイがぐっとつき出している。顔が小さく、鼻がそり反っている。なので、小柄に見える。デパートガールに、十五かたとすねたら、わたし二十よとにらまれた。



## パーマンで デートしましょ

森口博夫

〈神戸製鋼所広報課長〉

はなやかなマーチ、眼を見張る衣裳行列、夕やみをあざむく電飾五月十四日のカーニバルはまことに国際都市神戸の面目をほどこした、たのしい行事でした。徳島の阿波おどり、仙台の七夕祭、京都の葵まつりや祇園まつりというように、神戸にも何か欲しいという気持は全市民の胸にくすぶっていたことと思います。たまたま、開港百年記念行事として計画されたものですが、港まつり以上のパンチのある、すなわち観光客を引張ることができるカーニバルを当

局の方々は考えられていると存じます。このためには、来年はどんな方針で実施するのかということなどは、暑くなるまえにはつきりさせておかないと、消化不良のカーニバルになります。市民としては、カーニバルならカーニバルで、それは少なくとも日本中の新聞のネタになり、全国のテレビのニュースに取材されるカーニバルであることを期待していきましょう。そして、カーニバルといえぱりオデジヤネイロといわれる、このレベルまで力を入れるべきだとお考えでしょう。

神戸市としての姿勢を早く知りたいところです。

さて、今年のカーニバルにどういう参加をするかということ、私たちが鳩首しました。電飾アドバルンとか、飾りつけトラックとか、風船を配ろうとか、いろいろアイデアがでてきましたが、私は、「神戸にマンガ通りをつくらう」と提唱しました。ある通り（東遊園地の西側、北側など）を指定して、そこにマンガをかきつけていくのです（消えないもの）。この地域だけは車を通さず、子供たちだけの落書きストリートをもかねます。

ハリウッドでは、有名な監督や俳優の名前が舗道の中に星（スタ

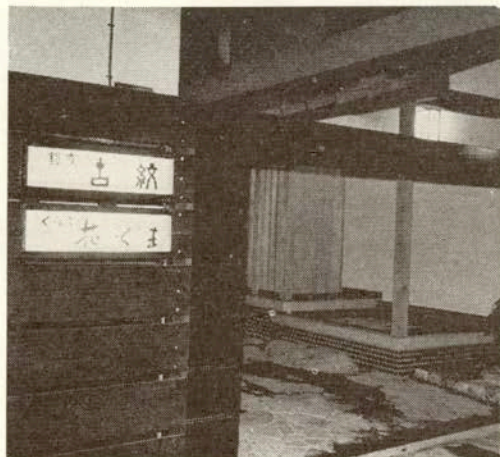
ー）とともに書きこんであります。また、チャイニーズ・グローマン・シアターでは、例のアカデミー俳優の手形、足形がフロアーに並べてありました。

神戸のマンガ通り、そこに書きこまれた作品はマンガ界でも權威あるものとし、日本のみならず海外のものも収容する。そして、ブラッセルの小便僧、ニューヨークのエンバイヤビル、パリのエッフェル塔とともに、神戸のマンガ通り、マンガ博物館に育てあげる。毎年、子供の日には盛大にマンガ祭りをやる（もちろん、マンガの親スポンサー協力、オバQの不二家など）。だんだん、夢がふくらんできます。

現在、神戸のセーリング・ポイントは何かと考えてみました。ポート・タワー、六甲山、夜景：もっと人間くさいものが必要ですそれは、カーニバルでもマンガでもいいのです。マンガ通りは、世界でも前例を知りません。不幸にして、今年のカーニバルではマンガ通りができませんでしたけれど、来年はぜひ実現させてほしい。案外うまくいくような気もします。

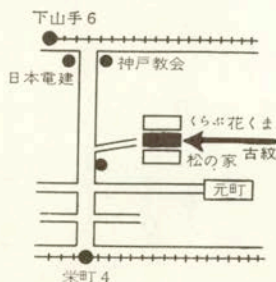
「パーマンのところでまってるね。」というようなデート、いかしませんか。

割烹「古紋」は神戸・花隈に  
生れたカウンター形式の粹  
な日本料理のお店です。お  
気軽に季節料理を味わって  
いただける楽しい雰囲気。  
ぜひ一度お越し下さいませ。



割烹 古紋

神戸市生田区花隈町45  
でんわ ㊿ 0240



# お い ろ が き

## お 料 理

古 紋 弁 当	400円より
お ま か せ	1,800円より
古 紋 コ ロ ッ ケ	300円
古 紋 湯 豆 腐	500円
季 節 一 品 料 理	300円より

## お 飲 物

日本酒（特級）	200円
ビ ー ル	100円より

古紋のお料理はきめこまかな風趣と格調たかい味覚。気軽なお値段で人気を集めています。



□ 小尾日銀神戸支店長

□ 神戸っ子対談 □

# 神戸っ子に欲しいバイタリテイ

小尾 知 愛

日 本 銀 行  
神 戸 支 店 長

砂 野 耕 一

川 崎 重 工 業 株 式 会 社  
外 船 課 長

★縁の深い町神戸

砂野 支店長のお名前はたいへんおめずらしいのですがお生まれはどちらですか？

小尾 私が生まれたのは山梨県甲府ですが、父の仕事の関係で北海道へ行ったり、東京で住んだりしました。山梨県には古い家が残っていますが、まあ江戸暮しというところでした。名前もめずらしいことはめずらしいですね。先日も郵船の浅尾さんの息子さんと話していて、尾というのは山の尾根ということで、きっと先祖が住んで

いた近くに浅い山があったので浅尾で、小さな山があったから小尾でしょうと笑ったのですが、東京ですと電話帳をみても、かなりありますよ。

砂野 日銀にお入りになってあちこちご転勤になられたと思いますが、ご勤務になられたのはどちらですか？

小尾 私は銀行に入って今年で二十六年目になります。昭和十七年から昭和二十年までは兵隊に行っておりましたから、銀行自身とすれば戦後派ですよ。地方勤務はこれで五ツ目になるんです。そのうち三ツが関西です

から居住性からいくと関西に縁がありますね。はじめて地方に行ったのが昭和二十七年で、東京をはなれて京都へ行きました。京都で一年をすごし、それから大阪。大阪で二年をすませ東京。それからしばらくして仙台へ行き、そこからもう一度、東京にもどって今度は九州の大部分へ。それから東京に帰って、そして神戸に来たと、たいへん振幅の激しい動きをしているのですが、振幅の激しいと同時に比較的北から南までの拡がりはい長いといえますね。まあ兵庫県という関係からすれば大阪にいた二年間というものは西宮に住んでいましたから、日曜日になると、どちらかというとは大阪へ行かずに神戸へ遊びに来ていましたからね(笑)神戸といってもはじめて来た感じは全然しませんよ。

**砂野** 私は大学の間、東京へ行っていました。あとはずっと神戸です。神戸だけしか知らないのですが、青年会議所に入りまして、中部、中国、四国、九州といったところの人達と接触することがあるのです。そこで非常に地域的な影響というのがあるように思うのです。神戸の地理的影響というの、我々は知らず知らずの間に受けているものと思うのですが、支店長は各地をお回りになって、神戸の土地柄、人柄についてはどのようにお感じになりますか？

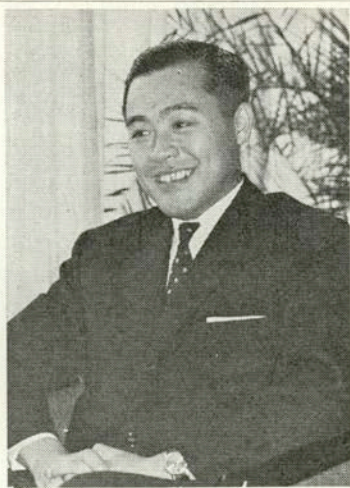
**小尾** 神戸に来て、まだ九カ月にしかなくていいのでまだそう深くはわからないので、もう少し時間をいただきたいのですがね。しかしあまり時間をかけすぎると神戸っ子になりきってしまいますかね(笑)

# ★恵まれすぎている環境・気候風土でどう修練するか

**砂野** 原口市長がおっしゃっていたことなのですが、原口市長は九州の佐賀の方なのですが、佐賀の気候条件、風土というものは非常にきびしいものだが、そのなかに自分の人間をつくりあげ、きたえられてきたということなのです。その点で、神戸は自然条件にめぐまれすぎているためにほっとくとねばり気のない、根性のない

人ができやすい。だから自ら努力して修練に励めということはいわれたのです。たしかに私のところの従業員でも九州、東北、あるいは近畿から来ている人をそれぞれ比較してみると、性格的に多少違うことを感じ、気候風土、環境の影響を受けていると感じますが……。

**小尾** 自分の実感でそれだけのことがあるというところまで勇氣はないのですが、たしかにその傾向はあり得ると思います。たとえば私が仙台にいたとき、その土地の人たちと話していると、誠に表現は下手で、とつとつとして、こちらが言わないと反応が出てこないということがあるんですね。だから、よほど時間をかけて話さないと何を考えているのかよくわからない。閉ざされている感じがするんです。しかし、表現は下手であるけれど、何かやるときは非常にねばり強いといえます。めったなことではへこたれないのです。それが神戸をみますとね、神戸の人と接しているとたいへん開放的であるし、他の土地の人だからということなしにすぐ受け入れてくれる。だから、親しみはすぐ感じる事が出来るわけ。それだけ開放性があるわけですね。しかし、たとえばその開放性というのが、仕事の面であるとか、生活の面でどう出てくるかということになると、また、別の意味があるかも知れません。それが原口市長のおっしゃったように危険性をはらんだ傾向があるのかも知れないという感じがします。でも神戸がいいところだということでは万人が皆いうところで、それに異議をさしはさむ余地がない。私もそういうことを聞いて来てみたら、来たらだんだん、そのことを強く感じます。よく海があつて山があつて、港があつて食べ物かうまいといいますが、まさにその通りで、それに対してオブジェクションは出てくる余地はないですよ。しかも自分の生活をみてみしても、山と海は、よそに行ってもないことはないが、そこにはやはり都会がなくてはならないことがありましようし、海にしても港がないとさびしいものです。それから山といっても裏山ではないのであつて、六甲山程度



□ 砂野 耕一氏

の山でなくてはならないのですよね。それぞれ、それだけの規模を持っているということにメリットがあると思うのです。単純な山とか海とかいうのではなくてね。

砂野 適当に文化人のいろんな欲求をまず満たしてくれということですね。

小尾 東京から適当に離れているということもひとつのメリットでもありますね。よく、日本の流行歌というのは港と涙をたせば唄になるといわれるでしょう(笑)やはり、永い間の鎖国を経た日本人にとっては、港といえばそれだけなにかイメージを与えるのでしょうね。それと、東京と横浜というのではなしに、自分の居住地のすぐそばにそれがあるという点でしょうね。

#### ★日本全体の視野で労働力・集中力の問題を考える

砂野 そうですね。最近よくいわれるのですが、神戸が国際的な貿易港として発展しなければならぬといわれながら、港湾設備を中心に今まで用を足してきたと思うのです。しかしながら、そこに経済の動きを集めて、ひとつのまとまった中心になろうとする努力が欠けていたような感じがいたしましたね。

小尾 こういいうい方は神戸の人たちにとっては、ふさわしくないかも知れませんが、いろんな意味で、今後地

域経済圏に境い目がなくなっていくと思うのですよ。境い目があるというのは遅れている点があるから、すき間があるので、密度が高くなればなるほど境い目がなくなってくるのですよ。つまり神戸のことだけを考えるだけではなしに、その拡がった範囲のなかの神戸を考えるなら考える。しかし、ほんとに考えるべきことは神戸はさることながら、拡がった地域自身を考えていかなければならないのではないかと感じがしますね。問題の目のつけどころが、神戸にとってプラスになるのかマイナスであるのかということであってはいけませんね。

砂野 西日本経済全体として、どういう風に進んでいくかという点についてはいかがでしょう。

小尾 それらはすでにそれぞれが産業的地盤というのはあるわけですね。いやでも陸地には農業があるし、海には港がある。港があればそれに付随した産業もついてきているということですね。だから、それを相当に生かしていかなければならないということも事実ですよ。同時に日本全体の問題とも関連する、たとえば日本の発展は都市に集中するということです。極端にいうと、東京・大阪に集中する。しかし現在の姿は反面で集中をしながらも、もう一度分散化するという動きがある。たとえば労働力の問題もあるし、土地の価格という問題もありましよう。だから日本全体の労働力の問題と集中力の問題を全体的に考えなければならぬでしょうね。なかなかむずかしい問題ですが、単に神戸だとか、単に西日本だとかいうことではなしに全国的な視野を頭に置いたうえで、議論を進めていかなければならぬことを教えてくれることは事実でしょうね。

#### ★バイオニア精神から前進してバイタリティー神戸に

砂野 今後の方向に対してリーダーシップをとってゆくために神戸の経済人として考えるべき点について……

小尾 めぐまれているという事に甘んじてしまうという傾向はあるんでしょうね。それは経済人としても放つて

おくとそうなるでしょう。まあ、私の方の職場でみましても全国の日本銀行でも、どこかの職場へ行きたいかというところ、おそらく神戸へというのが、大部分あると思うのですよ。これは一般的にそうでしょうね。という事はなかにいる人間は泰平ムードに陥ち入る危険性があると思うのですよ。職場の雰囲気としましてね。これをもう少し広くいうと、神戸全体にも通用するかも知れせんね。つまり、住み良さという事に慣れてしまっているのですよ。そこでそういう泰平ムードと地盤沈下をなんとかしなければというインフエリオリティ・コンプレックスと二つのミックスした気持が、思いきったことをするよりも、小さくスマートにかたまってしまうという危険性を持っているのではないか。こういうローカルカラーはいつかは破れた方がいいかも知れないと思うのです。しかし、破られた方がいいという事は神戸の良さが少々は損なわれても、長い目でみればもう少し、バイタリティーに富んでいる方がいいのじゃないかと思うのです。よく神戸の街を歩いていて、昔の六甲はもっと木が多くてきれいだったが、最近は何だか増え、汚れてしまったという人もいますがね。そりゃ、私も自然というものをなるべくこわしてもらいたくないとは思いますが、やはり、自然が美しいというのは人間が住んでいて適当な居住性というものの上に立ってはじめて、自然があつていいので、人間が住めなくなった過程にあつていくら風物があつても全く意味がないと思いますね。ですから、多少六甲の山肌が損なわれても、目をつむって居住性ということに目を向けることが大切なんじゃないかと思ひますね。また、それ位のことをのみこんでいくだけの力を持たなければならぬと思ひます。

砂野 こじんまりと昔からのものを守っていくというだけではいけないですね。

小尾 そうです。従来なかにいる人には楽しいかも知れませんが、新しい発展ということは望めないかも知れせんね。私はこの間、テレビを見ていると、NHKで

の「新日本紀行」で神戸を取りあげていましたね。あれでの結論は、神戸はパイオニア精神に富んでいるということでしたが、神戸のためには非常に好意的な見方ですよ。パイオニア精神ではあるのですが、もう一歩先に出るだけのバイタリティーがほしいと思うのですよ。パイオニアだけで終るのではなく、それが実力となって盛りあがるだけのバイタリティーが後からくっついていないと、パイオニア精神だけでは不足だと思うのですがね。

砂野 そういう点で、我々は日々反省はしているのですが(笑)

小尾 たとえば、九州にしても、東北にしても、置かれている環境は決して良くないわけですよ。その恵まれていない環境をどのようにして克服するかというか、いずれも後進地域の最大の問題点ですね。それは時としてうわすべりをする危険性もあるが、飛躍をする可能性もあるわけで、なんとか、こういう悪条件を人間の知恵で克服しないといけないのだと、そういう意味の意欲は、私はやはり買わなきゃだと思ひますよ。九州でも東北でも同じですよ。だからこれを神戸に持ってくる、このいい条件をもっともつと生かすように考えられるべきだと思ひますね。その辺では後進地域にいたことがあるからよけいにそう感じるのですよ。いいすぎかも知れませんが、小さく安住するのはもつてのほかで、他がそれだけの努力をやっているという彼等の努力に比べれば、なすべきところはまだまだあると思ひますね。

砂野 ただ手をこまねいてみるのではなく、何とかやってみようということを感じているかどうかですね。

小尾 それに地元の人たちが、そういう考えに一致した考えをするかどうかということです。皆さんがマイペースだけでなく、多少、人より遅れたり、また、かけ足になつても集団という力になり得るかどうかということに問題があるように思ひます。

## 経済ポケット ジャーナル

### ★神戸銀行新頭取に石野氏

神戸っ子、石野信一氏が神戸銀行の新頭取に就任した。石野さんは元大蔵省事務次官。政策融資面のテコ入れ、都市銀行としてのいっその飛躍をめざす神戸銀行にはもってこいの人材。



新頭取 石野信一氏

の役割と都市銀行の使命を両立させるような「銀行の姿勢」を強調している。石野さんは中学までの青年時代を神戸・須磨で過ごし、大阪もくわしい。官僚色とれるかどうか心配する向きもあるが、行内外の



評判はすこぶるよろしい。創立三十周年の神戸銀行の今後の発展ぶりに注目したい。

### ★ゴム工場アパート

#### 第一号完成

ゴムのまち神戸市長田区に「ゴム工場アパート」ができた。公害防止と協業化の一石二鳥がねらいで、全国最大の規模。



ゴム工場アパート

神戸化学センター協同組合（加古幸治理事長、組合員十四社）が神戸市の指導で計画、公害防止事業団が初事業に取り上げて建設したのも。長田区細田町五の元神戸大学工学部跡地にそ

びえたつ地下一階、地上六階の同アパートは密集する零細工場の中で、ひととき目立つりはなビル。一階は共同工場、食堂、売店、浴場、二階以上が十

四社の作業場で、じまは煙突がたった一本しかないこと。粉じんや有害なガスも吸い取る換気器、ダクトが完備、同業者をうらやましがらせている。総工費五億円、十四社は二十年年賦で分譲してもらう。

神戸のゴム工場は長田区を中心に約六百軒が密集。ばい煙、亜硫酸ガス、騒音振動と公害がいつぱい。火災もたびたびで近代化が急がれている。第二号アパートが引き続き工事中。

### ★輸出真珠の関税は

下がったが……

ケネディ・ラウンド（関税一括引き下げ交渉）の妥結にともない、神戸の輸出真珠業界にやや明るいムードが出てきたようだ。

昨年の養殖真珠の輸出実績は六千四百五十六万一千ドル。男性を喜ばせているミニスカートの「肉体の誇示」とあって、この流行が真珠首飾りの売れ行きを悪くしており、輸出は依然横ばいを続けている。主力の米国

市場は全輸出額の三六・〇九%（前年三六・八八%）と頭打ちだが、こんど米国が五〇%の関税引き下げを認めたので、バイヤーの買い付け意欲はかなり積極的になるとみられる。

一方、関税引き下げに応じないE.E.C諸国への輸出は、比較的堅調。日本真珠輸出組合（横田稔理事長）でも市場開拓の一大眼目として今後とも力を入れていくが、問題はP.R費のねん出。せめて全輸出額の一%約二億円かけてジェトロに頼りつばなしの市場調査も独自にやりたいところ。よく売れている間はP.Rを忘れ、頭打ちになってP.R、市場調査の不足に気がついた——ではお粗末。服飾業界へもP.R攻勢して真珠の以合う服でも開発してもらったら……。養殖真珠の現行関税は五%、イミテーションパール同四〇%。五〇%引き下げならイミテーションの引き下げ幅が大きいから、これも頭の痛い問題。

### \* KOBE オフィス レディ \*



長谷川 絢子さん (23)  
兵庫三菱自動車株式会社乗用車部勤務

入社して一年と二カ月。エキゾチックなお嬢さん。お父さんの勤務の関係でバンコックで生まれた。3歳までしかいなかったが生まれ故郷へぜひ行ってみたいという。趣味はスケート、ボーリング、旅行つりと広範囲。なかでもつりは友人と和歌山、淡路へも足をのばすほど。神戸女学院家政学科卒。

## ■技術ジャーナル

### コンテナ

諸岡 博 熊

（神戸市調査室副主幹）

物をスムーズに運ぶ技術としてユニット・ロード・システムの利用が叫ばれているが、コンテナリゼーションは、その一単位として発達した技術とみるべきであろう

国鉄で使用されているコンテナは、いわゆる国際規格でいうと、 $8 \times 8 \times 10$ （五トン）という小型で、狭い日本の道路や国土事情に合わせたものといえる。

ところが、欧州では五年前前にアメリカでは十年前前に国際規格について、ジュネーブに本部のある国際標準化機構で検討を始めた現在の規格としては、 $8 \times 8 \times 10$ （十トン）、 $8 \times 8 \times 20$ （二十トン）、 $8 \times 8 \times 30$ （二十五トン）、 $8 \times 8 \times 40$ （三十トン）の四種類に大別されている。ちなみに、 $8 \times 8 \times 10$ という数字はフィートであらわされ、たて $\times$ よこ $\times$ 奥行を示し、トン数は荷重で、コンテナそのものの自重は含まれていない

このような大型コンテナになると、国際用と国内用とにさらに細分されるが、いずれも専門業者会社であろう。アメリカの場合、リースとかレンタルが発達している。目下、神戸港で取り扱われている国際コンテナは、アメリカ向きが主で、機械、陶磁器、繊維製品、玩具、食品などが利用してい

る。

コンテナの利点となるものは、なんといってもドア・ツリー・ドアの便利さであるが、専門家間では、①荷造包装費の節減、②運賃の低減、③荷物事故の低減、④運送保険料の低減などを長所としてあげている。国際コンテナの使用はこれの秋から本格的に始まるといわれているが、もうすでに神戸港では変則的な取り扱いとして一部で使用されている。いわゆるフル・コンテナ船はアメリカの二大コンテナ船会社であるマトソン社とシーランド社が、日・米間のビストン輸送に配船してくるので、日本側も自衛上、船会社は出血を覚悟で、コンテナ船の建造やコンテナ容器の製作等に大わらわである。神戸に本年設立される阪神外貿皇頭公団はコンテナ・ショックに対応して考えられたものである

海外におけるコンテナ輸送なるものはその発生からみると、国内輸送から沿岸輸送へと発展し、最後に国際間輸送へと変化した。このため、国内の輸送路（鉄道、道路、水路、空路）には、これに適するような施設が設けられ、輸送の効率化、合理化が進んでいる。これに反し、日本の場合、国鉄が細々と小型のコンテナを使用してきたというのみで、国内の輸送施設については大型コンテナに適したものがない。そして、さらに悪いことには、一番難しい国際間輸送からいきなり本格的に取り組まねばならなくなったことが最大の原因で国内の道路事情をどう根本的に変化させ対応するか、その

整備方法についてすら、考えが及んでいない。コンテナ集配のためのインランド・ドラック・フライミステーション、デラック・ターミナルさらに高速道路規格施設として、トレーラーの改善など、国際コンテナから強いられる国内問題処理が大変なこととなっている。

最後にコンテナの種類を説明しよう。

●シート・コンテナ ①ビニルキャンバスなどを用いたゴム袋状のもので、粉体、粒体の品物の輸送に使用される。海外では返送時に折りたたみ容積を小さくできるフレキシブルコンテナがこれに应用されている。

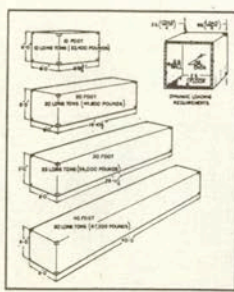
●タンク・コンテナ タンク・ローリーにみられるようなタンクのためのコンテナで液体用である。内容物によって、常温で固化するものについては表面を保温材でおおったり、スチーム・パイプを通じて保温している。

●冷凍コンテナ 輸送途中保冷を要する品物用に考えられたもので、主としてアイスクリーム、冷凍肉などの輸送に用いられている。温度コントロールができるので青果物の輸送にも利用されている。

●雑貨（ドライ・カー）コンテナ  $8 \times 8 \times 10$ とか $8 \times 8 \times 20$ とかで説明してきたもので、型が長方体のため品物がぎしり積み込まれない。そして船体構造からまた、ぎしりとコンテナも積み込むことができない。つまり、フルコンテナ船としても全体で約二十パーセント程、容積において損をすることとなる。このあたりが、今後の改良点であろう。

●フラットベッド・コンテナ 重貨物運搬用の床の低いもの。

●トラック・コンテナ 自動車などを積み込むもの。



Shown are the four basic types of larger containers allowed to enter and exit the Trans-Pacific Maritime Dispute (TPMD) zone for the year of study and discussion in the U.S. and Japan.

# ●パイオニア神戸



〔7〕

## 六甲市長

★アーサー・ヘスケス  
グルームの伝

岸 百 艸

マイコ（舞子）を先頭にして、五、六びきの猟犬が、獲ものを追って走っていた。

いつものことだが異邦人グルームにとって、この背山の狩りくらは、またとない愉しみの一つになっていた。

たまたま一日、雉を追って登りつめた時、はしなくもそこに雉・鹿・猿よりも大きな獲ものを見出したのである。

海拔九〇〇米——むし暑い都会地より一〇度も低く、しかもあまり乗りものの必要を見ないですむ、いわば、うち庭の延長にもひとしいところに、ほしのままに涼が得られようとは。関西の軽井沢とするには、まったくおあつらえ向きにできている。

明治二八年（一八九五）彼は、親友のドクター・ソーニイ・クラフトと、六甲山が避暑地として好適の地であ

ることに、意見の一致をみた。

性急なジョンブルは、なんの顧慮するところもなく、昵懇な県知事服部一三の許可を請うて、長男亀太郎名義をもって借地権を獲得するや、いち早く、東明浜の大工平吉に、和洋を兼ねた平家二棟（後一度全焼、直ちに再建）を建てさせた。磊塊たる三国岩を背に、後年グルーム池といわれた三国池をふところにして、この年六月六甲山嶺の第一号山荘として、百一屋敷は名乗りをあげたのである。

彼ほど六甲を愛したものは、その後においても見ないのではない。常に鋸とともに、先に鋭利な鉄のついたステッキを携えて、雑木の枝を掃い、しこ草の根を切りとり、わずかな紙屑にも、自他ともにこれを許さない、潔癖をもちつづけていたのは彼を置いて他にあるまい。

五毛村から登って、オランダ人エリオンさんのビール腹が参ったという *Ailions Ruh* を経て、メリフィッシュが駕丁のために、谿川のせせらぎに、竹筒を刺しこんで飲み水にした *Meihuiss Alms* から、ここまで来ると、客も駕丁も一服するのが、おきまりになっていた *Flat Stone* そりから徳川道に入るころが、*Newmens Pocket* といつて、英人 *H. C. ニュウメン* という肥大汉が、小雨と、霧に襲われた二人の老嫗を、左右のポケットに入れるように庇護しながら、一夜を明したところから、この岩の上に佇って振りかえると、登って来る後人の姿が一望の中に見える *Husband Stone* を突けると、そこにあるのが百一且那の山荘なのだ。

五毛村の農民を動員して、この一間巾にも満たない八重むぐらの小径を切り拓くのに要した私費が、正に一金百円也というから、世の中のあたじけなさも押して知るべきだろう。

グルームのうまい勧誘によって、六甲山上には、ちゃくちゃくとして、外人部落が形成されていった。

日露戦争当時は、小倉庄太郎が日本人として、唯一の山荘の持ち主であったのが、明治四三年（一九一〇）には、英人二八戸、独人九戸、米人四戸、仏人二戸、白人一戸に対して、邦人一二戸を数えるにいたっては、また盛んなるかなといわざるを得ない。

明治三六年五月二十四日（一九〇三）県知事服部一三の処女ドライブによって、はなやかな開場の式典をあげた神戸ゴルフ倶楽部。こんにちの隆盛も、惜しみなく一切をあげて、公共のもたらしめた、グルームの襟度の賜ものである。

五毛・石屋川・住吉の壮夫百数十名の駕丁が競い、有野・唐櫃の疲へいた山村の農民が、この山上の開発によって、どれほど生活の安堵を得たか。彼らの総意によって創建された、今はなきかつての「六甲開祖之碑」こそ、その間の申したてを、ものがたるものではないだろうか。かりにもし、山を愛することを知らない、一部日

本人の手によって、開発の鉄が握られていたなら、今の爽涼たる六甲のすがたかたちはあっただろうか。そぞろ寒気だつおもいである。六甲市長の仮称またゆえなきにしもあらずだ。

グルームの生涯は一八四六年九月二十二日（弘化三年、恰も孝明天皇が踐祚された年）英京ロンドン市外のセモアーといわれている。五大洋にユニオンジャックの旗風のひるがえらぬところのないといわれる、英国魂の血をうけた彼として、安閑として家郷にせぐままっている手はあるまい。すでに、長兄のフランクは上海にあって、貿易商社を興しているにおいておやである。

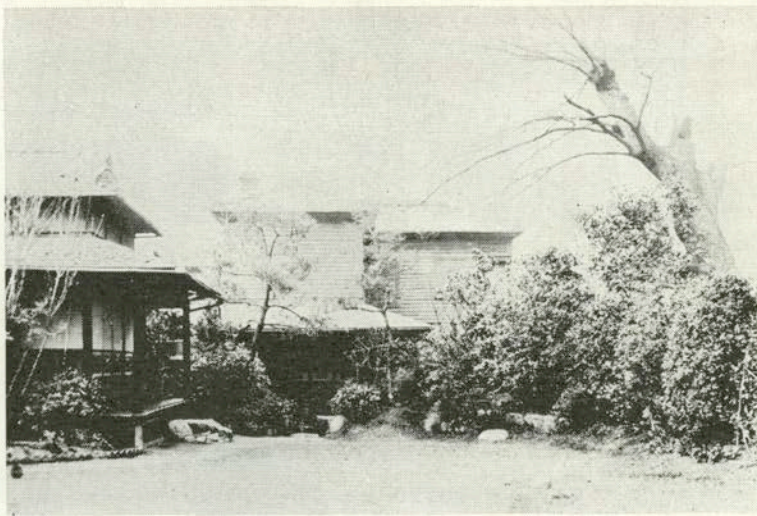
彼の来朝した年譜については、明確な証となるものはないが、彼が落命した一九一八年には、彼と彼の妻、宮崎直のために、九月二十二日を卜して、金婚式を挙げる予定が、家族一同の間に計画されていた事実から類推してその月日は不明にしても、明治元年九月以前とすることには大過はないであろう。

今刻、ドン・ロドリゲスの黄金島発見の夢ものがたりでもあるまいが、彼の若きいちずな心は、兄の足跡を追って、東洋の新天地を馳けめぐっていたに違いない。

多分、兄フランクの指しがねによったのであろう。彼はまず、長崎に来朝の第一歩を印すと、マダム・バタフライで有名な、怪商グラバー邸の人となったのである。

当時の開港地は山犬のような攘夷党の潜入地帯で、肩を怒らせ、まなじりを決した朱鞘が、どこからともなく鞘走ろうという、危険きわまりない明け暮れをつづけていた。この通り魔にはさすが勇猛剛気なジョンプルの裔グルームも、胆を寒からしめたこと一再ならずとは、後日よく家人に笑いながら話したことだ。

長崎に腰を落ちつけるいとまもなく、彼はグラバー商會の一出張員として、開港直後の神戸に送られて来た。そこで、彼の始めて得た日本人の知己こそ、現栄町二電停西南角の（前山下汽船本社、現安田銀行）地に商社を開いていた兵庫の網元、川西善兵衛その人である。グル



明治22年、グルームが神戸に移り住んだ中山手通二丁目の和洋二棟の二階屋

彼の牙城とした、関内居留地の英一番館の写真は今も保存されているが、どこかの廃仏棄釈のために身売りされたりしい、豪荘な伽藍の表がまえてある。外国人の誰もがするように、生糸と緑茶を買いつけることが、彼の貿易商社の主体だった。

横浜在住一〇年、彼はこの地で、次男米吉、四男久吉次女花、五男英吉と四人の愛児を得ている。

二年、居を再び神戸に移し、居留地播磨町の三四、三五番（現三宮電信局北部）を商社として、緑茶の精製と輸出に希望をかけた。と同時に、番頭能登の持家である、中山手通二丁目一三八番地（旧称三角帳場の西二軒目）に和洋二棟の二階屋を建て、畳の柔軟な感触をひどく愛した彼は、洋室にも畳を棄てさせないで、その上に絨緞を敷きつめていた。ここが、彼の終の棲家になったのである。そして、ここから二五貫余、六尺ゆたかの肥満した体軀を、三人曳の人力車にゆられて、布引街道へ現在のバス道を経て旧外人墓地道にあって呉錦堂邸の前を通り抜け、青谷の急坂を下って、五毛天神前で下車する。そこに待っている、ごひいき横田の特別仕立一〇円の駕籠に乗って、私費を投じて切り拓いた組径を、三国池まで担ぎ上げられるのである。駕籠馳れした日本人と違って、この強行軍は脛を折り曲げることの知らない外人にとっては、ひどく苦しい行だった。

どうも私の筆は、あまりに六甲にとられ過ぎていたようだ。この辺で、彼の事業の最大のものであった精茶のことに、少しく書き記そう。

朝は三時から弁当箱さげて

開けておくれよ門番さんよ

今日の天保をもらわなきゃ

鍋釜へつつい総やすみ

箸と茶碗の隠れんぼ

飯もり杓子が隠れんぼ

お玉じゃくしが身を投げる

開港当時は、茶の乾燥も十分で、火入れ再製の必要も

ームが、元町三丁目の真宗の名刹善照寺に仮寓し、その和尚佐々木先住のすすめによって、大阪玉造の宮崎直と華燭の典を挙げたのも、新興貿易商として、グルームと接触した川西善兵衛の肝煎りではあるまいか。

事実、明治七年五月一日、大阪、神戸間の鉄道開通に先だって、善照寺を去ったグルームに、彼は自分の商社の筋向いにあった角屋敷（のち台湾銀行となり土蔵造りの鴻池銀行となる）を推薦している。彼が、居留地江戸町の百一に本拠を構えたのは、その後のことである。勿論、グラバーのきずなはとくに離れて、今は雄心ばつ勃たる一個の商館のあるしだった。

グルームが横浜に進出したのは、明治一三年のことだ

なかったが、その後、需要が伸びて来るにつれ、乾燥不十分のため、おもわぬ損害を来した外商は、以来、居留地内に再製場を設けることにした。それに加えて、上海より再製技術を会得している清国人を雇い、これに看貫（拝見さんともナンバーワンともいう）という監督兼支配権をあたえた。百一の茶倉では、番頭の能登弥吉と後年独立して、生田神社の西セントマリヤ寺院の地に、豪荘な邸宅を構え、出するに二頭だての馬車を駆った、俗称シキウさんの麦少彭が采配をふるっていた。

ここで、彼の最後の事業となったオリエンタル・ホテルについて少し語っておこう。

そもそもオリエンタル・ホテルの創建は、明治一五年、仏人ルイ・ベギューによって、彼の旧地居留地一〇一番に、ホテル・ド・コロニー（通称居留地ホテル）の看板を掲げたのが最初である。

いくばくもなく同ホテルは、八〇番に移転をし、続いて二六年、八七番に別館を、A・N・ハンセルの設計の下に建設し、初めてオリエンタル・ホテルと改名した。本館は地下室とともに四階で、建坪は三〇〇余坪、最高の一泊代金は五ドルという豪華さだった。

グループはベギューよりオリエンタル・ホテルの買収に成功すると同時に、従来の経営を株式に改組し、明治三〇年撰ばれて初代社長となった。

同四〇年、オリエンタル・ホテルは海岸沿いの六番地に移転をし、独人、ゲ・デ・ラ・ランデー設計になる新装、石造白亜の五層の大殿堂を誇った。楼上に、地球儀を献げた、見るからにして壮重典雅な英国風ホテル館が明石町の一角に竣つたのである。そして、支配人グループの事務室は、一階東北端にあった。けだし、彼一代の全盛をこの間に見出しても、誰あやしむものがないまで



に、彼の胸は膨らんでいたことだろう。

しかし、山の頂巔にも下降をたどらねばならない約束ごとを忘れることは出来ない。グループの人生行路にも人の世の哀しい掟は避けられなかった。

大正六年一月、オリエンタル・ホテルは遂に、東洋汽船会社の傘下に入らねばならなくなっていた。

大正六年（一九一七）クリスマス之夜、神戸倶楽部からの帰途、例の豪酒がわざわいして、不覚にも、同クラブの石段より転び落ちて、強く、右手頸を疼めたのが、不吉の前兆となった。

年を越した正月二日に再び、彼の六尺三寸、二六貫の酔態は、支柱を喪った一個の物体として、面部から奔る鮮血を満身に浴びて、折りから、スバル座の一際牙え返る寒天の下に投げ出されていた。

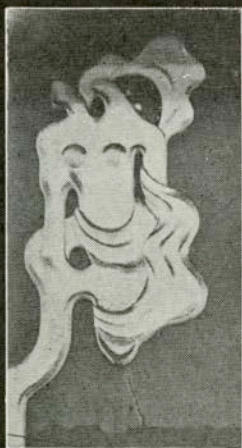
再び起つことの出来なくなった、彼の背後には、すでに終演の幕は切って落されていた。

一月九日「英智院具理日夢居士」享年七三。彼の多感な一生は日蓮宗の信徒の一人として茶毘に付されたのである。

（神戸史学会会員）

「英智院具理日夢居士」六甲の父グループの墓は今も三國池近くにたたずんでいる。

〈原文のまま〉



Lady's Shop®

*La Mode*

MOTOMACHI KOBE TEL 335689



*Akira Beauty Shop*



美容室

あきら

西野 明

電話予約制

三宮本通り TEL 334461・6458

エキゾチックな街  
神戸の生んだ  
キャンデーの最高峰  
**ア・モンドDツキ-**



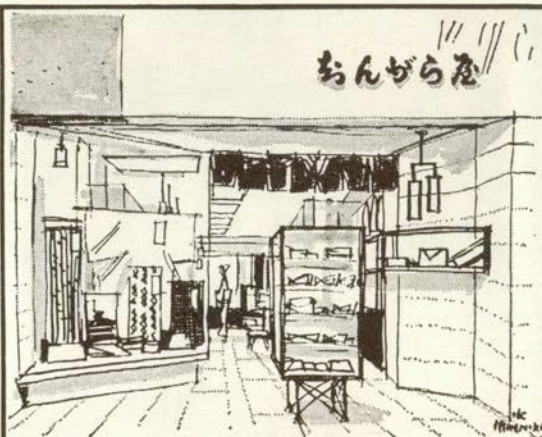
地中海のアーモンドと  
新鮮な生クリーム  
味のデュエット——



チョコレート\*キャンデー

**ゴンチャロフ**

直売店 神戸市生田区加納町4の1  
さんちかスイーツタウン・大丸  
そごう・三越・阪急・各百貨店



きものと細貨

**おんがら屋**

神戸

西店 / 三宮センター街・電話 33-8836 (代)

東店 / 三宮センター街・電話 33-0629

三宮店 / さんちかタウン・電話 39-4303

東京

銀座北店 / 銀座並木通り・電話 573-5298 (代)

銀座南店 / 銀座並木通り・電話 572-4847  
(京阪神銀座タウン)